

豊南小学校・校長室だより

平成 29 年(2017 年)5 月 10 日
発行者 西山 博章

第 9 号
(通算 95 号)

児童数配布

家庭訪問期間も半分をすぎました。…ね！

早いもので家庭訪問が始まって週の半分がすぎました。すでに家庭訪問もおわって、担任の先生とお話しされた方もおられると思います。なにぶん、この期間でクラスすべてのご家庭を訪問させていただき、お話しをさせていただいていますので、「じっくり」という訳にはいかないことも多いかと思いますがその点はどうかご理解ください。

ただ、以前にも書きましたが、この家庭訪問が先生と会う最初で最後ではありません。いわば「顔つなぎ」の意味もあります。昨年と同じ先生の場合もありますが、今年から新しく出会った先生の場合もあります。一度こうやって「顔をつないで」おけば、次から、例えば電話でお話しをされるときでもお互いが顔を知った上ですから、話しやすいということもあります。

ところで学校からの電話といえば、何かしら「よくない内容(だれかと喧嘩したとか、怪我をしたとか等々)」をすぐに思い浮かべることが多いと思いますが、決してそうではありません。

かつて私が中学校で担任をしていたことですが、私のクラスに結構『やんちゃな』男子がいました。事あるごとに、「喧嘩」や「黙って学校をでてしまう…」等々、の行動が度重なり、いやおうなくご家庭に連絡をせざるを得ないことが毎日のように電話をかけて時には、夜遅くにお母さんだけでなくお父さんまで学校に足を運んでもらったこともありました。しかし、あるとき、この男子が学校で(クラスで)クラスの友だちが別のクラスの男子から嫌がらせをされているのを目にして、「暴力ではなく」話をすることでクラスメイトを助けてくれたことがあったのです。私はその場には居合わせませんでした。その日の放課後にクラスの他の子どもからそのことを聞かされました。そのことを聞いて私は、もう結構夕方の遅い時間でしたが、家庭訪問を兼ねてその『やんちゃな』男子の家に行ったのです。すると、家には本人はいませんでしたがお母さんがおられて、私がわざわざ家庭訪問にきたから、また自分の子どもがとんでもないことをしでかしたのでは…と最初は顔を曇らせたのですが、その日クラスで『彼が』とった行動を私が大変感動し、嬉しかったということを伝えるために家庭訪問したことがわかり、今まで電話や、懇談その他では決して見せられなかった「満面の笑顔」を私に向かって返してくれたことを思い出しました。

先生と話をするというのは、決して特別なことではなく、日々の学校生活や家庭での生活の中のひとコマで子どもたちの意外な素顔や、意外な一面を見つけたとき先生とお家の方が気楽に話しをすることができるのが理想だと思っています。こういったことが積み重なっていくことで、子どもたちはまっすぐに育っていくのではないのでしょうか？悪いことばかり話していると子どもに限らず人は皆、気持ちが悪くさすんでしまいます。しかし、一人ひとりの良いことを話していくと必ず、子どもに限らず人は皆、気持ちよくまっすぐに育っていくと信じています。

これからも、参観や個人懇談等ありますが、こんな機会だけでなく、もっともっと気軽に子どもたちの『良い面』を先生たちとお話しできればいいなと思っています。

☆☆☆AAEのことです。…

昨日、「犬に関するアレルギー等」の調査をお願いしました。プリントにもありましたが、一見するとアレルギーとは直接関係のない質問もありましたが、これらは、子どもたちが犬に対してこれまでどのような経験をしてきたのか知り全体としてどういった傾向があるかを知ること、実際の活動プログラムを段階的、かつ効果的に実施するためのものです。

さて、お配りしたプリント(調査のお願い)の右半分は J K C の文章を抜粋した「フラット・コートド・レトリバー」の特徴を掲載しましたが、実際に連れてくる予定の犬のプロフィールを簡単に書いておきます。

名前(コールネーム) RAY(レイ) 性別 オス 年齢 6歳と6ヶ月 体重 34.2kg

プロフィール(訓練試験等) CD I、CD IIともに excellent で合格

J K C チャンピオン登録 狂犬病ワクチン、混合ワクチン接種済
血液検査結果(今年度4月実施) 良好

その他(性格など) きわめてフレンドリー、小型犬ともうまく遊ぶことができる

※CD IIはリード(制御する紐)なしで、「伏せ」「跳べ」「待て」等様々なコマンド(命令)に従うことができるかどうかを検定する試験です。

☆昨年度、キャリアプロジェクトで犬の訓練士の講座で実際の訓練士の方と一緒に6年生の子どもたちの勉強を手伝ってくれました。それ以外では昨年夏に図書館講座で多目的室で「犬博士になろう！」というクイズをやったときにも手伝い(?)にきてくれています。また、東京や千葉などあちこちへいき、たくさんのハンドラーの指示に従い大会にでていたので色々な場所に対してとても慣れています。

To be continued (次号に続きます)

